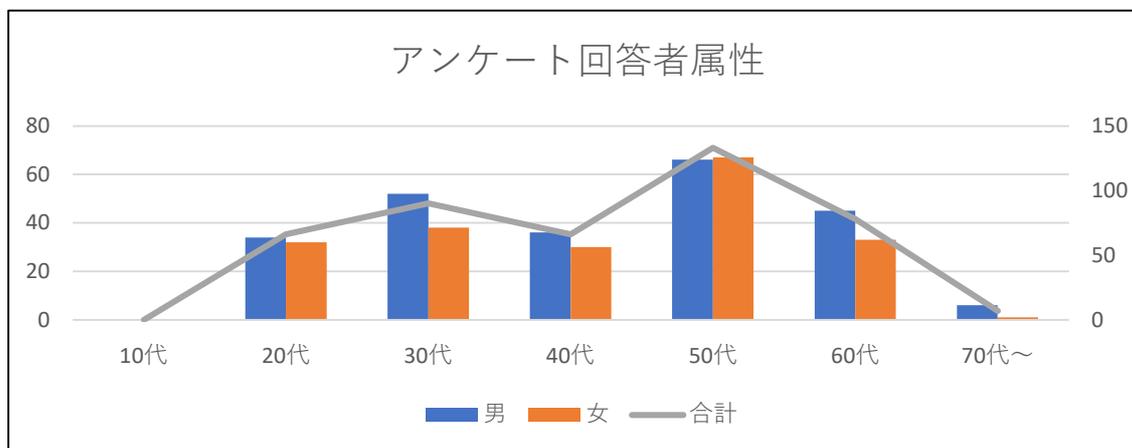


- アンケート実施月 2023.8月号回答数
- アンケート回答状況 (※男女数は参考値)

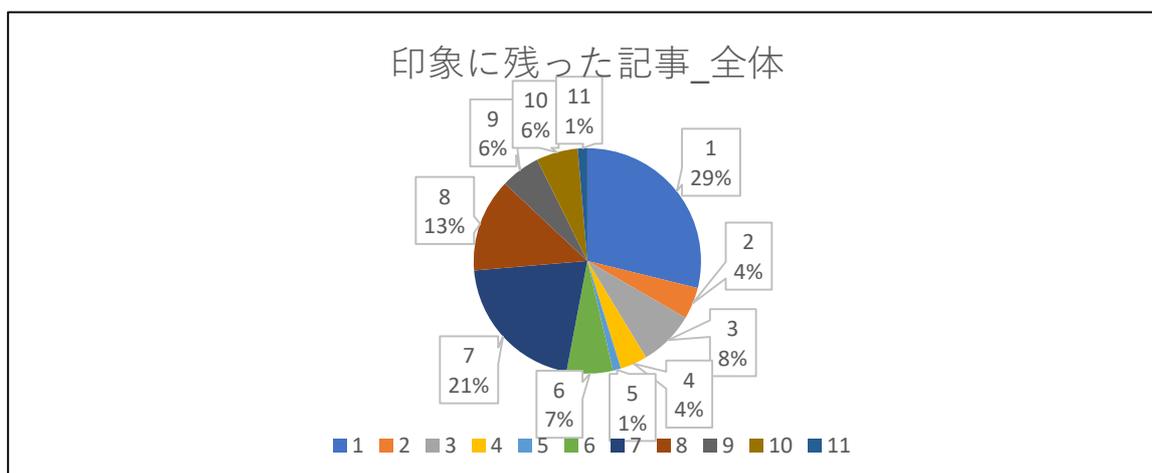
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男	0	34	52	36	66	45	6	239
女	0	32	38	30	67	33	1	201
合計	0	66	90	66	133	78	7	440



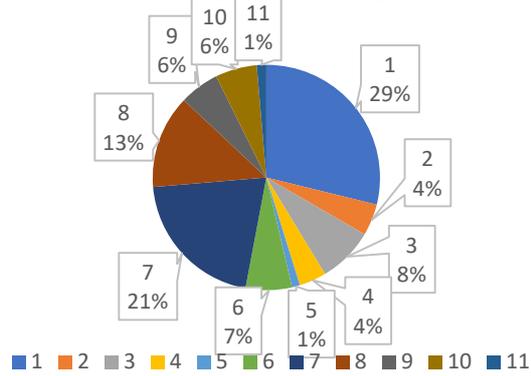
3. 印象に残った記事 (性別、掲載面)

【記事一覧】

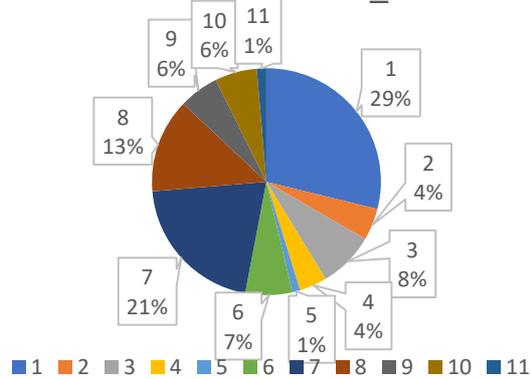
1. 迫る人事院勧告
2. 東奔西走
3. 都本部2023ジェンダー平等推進闘争
4. 自治体現場力による質の高い公共サービスを実現する集会/第4回現業政策集会
5. 連合東京共生社会実現セミナー
6. 第五福竜丸展示館の見学・学習会
7. コラム 待っているだけでは支給されない? 会計年度任用職員の勤勉手当
8. 機関紙パズル ほっと一息
9. 映画評
10. 私のおすすめ
11. 第26回自治労関東甲青年女性夏期交流集会



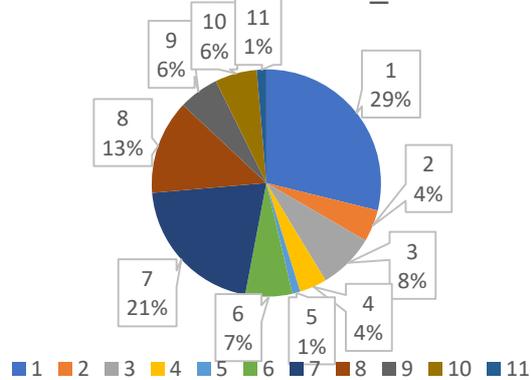
印象に残った記事_全体



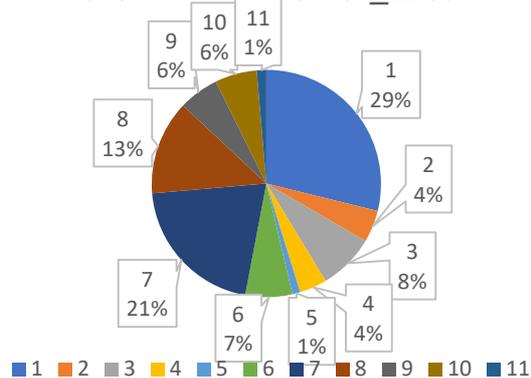
印象に残った記事_全体

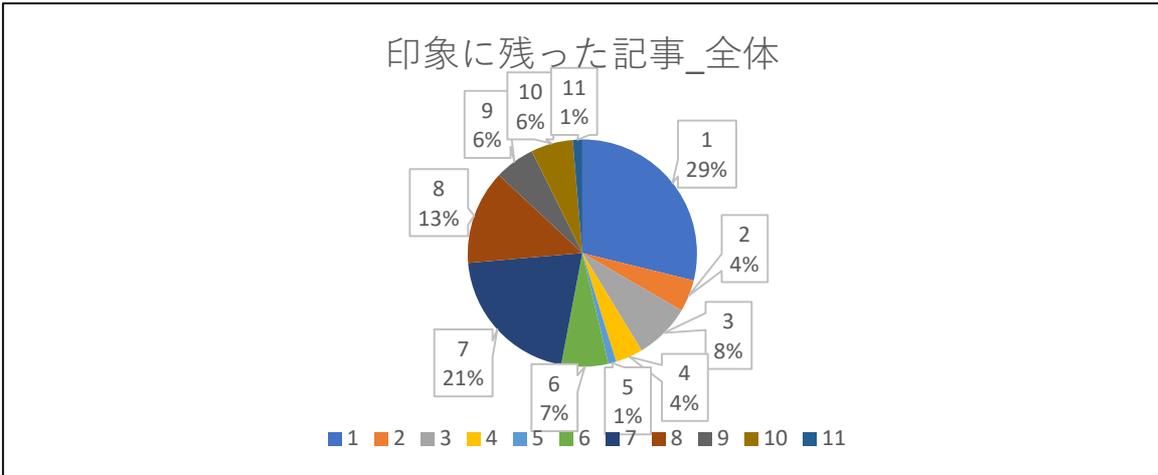
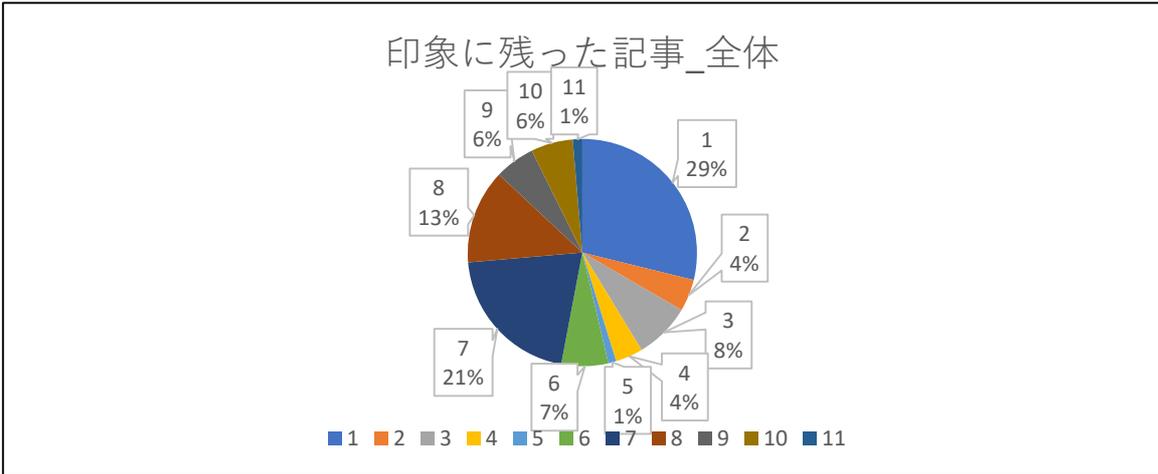


印象に残った記事_全体



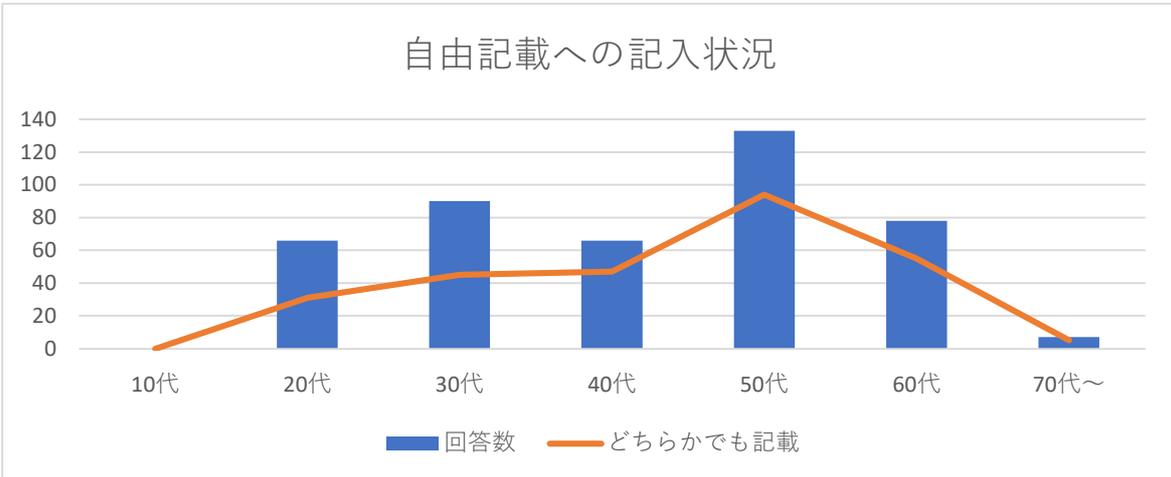
印象に残った記事_全体





4. 自由記載欄の記入状況

(1) 全体回答数における自由記載意見の状況



(2) 自由意見の傾向分析（単語出現数からの傾向）

2023年8月号における自由記載では「職員」「職場」「手当」の単語が多く用いられている。

<職員>

・常勤職員に関する意見としては業務負担に関する意見が一番多く、休職に対する人員の補填や全体的な人員不足による業務負荷への意見が寄せられている。次いで賃上げに関する意見が多く、物価高騰による生活の苦しきのほか、モチベーションの観点から中高年層の引き上げを望む声が寄せられている。

・会計年度任用職員の処遇改善の望む声が多く寄せられる一方、「会計年度職員にも人事評価の必要性を感じる。また、会計年度職員もかなり優遇されるようになり、常勤の任用のハードルが高いのに対し、会計年度の採用のハードルは割りと低いにもかかわらず、常勤職員との格差をなくすことに疑問を感じる。」(40代女性)や「会計年度職員の権利などはあまり載せないでいただきたい。今の方々は権利だけ主張し仕事はしない。それはどうなのかと」(50代女性)といった声もある。

<職場>

・「特に休暇については男女ともに促進されるべきで、そのためには職場にとってそれを受け入れる余裕と人員が必要である。病欠者もいるなかで、実現していくのはむずかしいが、より推進されたい。」(20代女性)や「各種の休暇制度が導入されてるが、職場で残務する側の視点が欠落していて業務負担が大きい。」(50代女性)といった休暇制度とリンクした人員の必要性を望む意見が寄せられている。

・「私の職場は職員一人ひとりの話をよく聞いてくれる職場だと思います。そのような職場に入庁できて良かった」(20代男性)、「コロナ渦ということもあったかもしれないが、話ができる職場であってほしい。」(50代女性)など職場におけるコミュニケーションや職場課題の共有の大切さについての意見が寄せられている。

<手当>

・会計年度任用職員の勤勉手当に関する意見はコラム記事への感想として多く寄せられており、支給を望む声が多い。

・地域手当に関する意見も次いで多く寄せられており、区職労では地域手当の格差への興味、市町職では引き上げと格差縮小を望む声が寄せられている。